

5学年部会の様子

単元名

「山梨県Hさんのぶどう栽培

～生産者と消費者をつなぐ、明るい農業の未来～」

実践は、選択できる内容の中から農業を取り上げました。米の生産では見えなかった農業生産の実態部分も含め、子ども自身が農業の課題や、その解決のための取組について考えられるような単元構成を意図されていました。また教師が教材研究を緻密に行い、導入でも子どもの問いや意欲につながる手立てをとったことで、子どもが主体的に取り組める実践となっていました。

研修会では、授業記録を活用し、教師の発問や、板書の手立てなどの良かった点や課題について考える時間になりました。また、子どもの言葉から、実感的な理解が得られていると考えられる姿や、さらなる資料の吟味の必要性等が考えられる機会になりました。

単元構想

